

■1 目的

- (1) 各校が特色ある教育活動を実践し、被災した児童生徒一人一人の学力の向上を図る。
- (2) 被災中学校生徒の ICT に対応する能力の向上を通して、将来の職業選択の幅を広げるための教育活動を実践する。

■2 事業費

- 事業費決算 33,079,555 円

■3 創意工夫支援事業補助金事業、被災中学校ICT機器導入事業

(1) 小学校

- ① 語彙力や調べる力、表現力の育成
 - 国語辞典・漢字辞典の活用
 - 子ども新聞、ことわざカルタ等の活用
 - 話し方教室の実施
- ② 基礎・基本の定着を高める指導の充実
 - 国語、算数のドリル学習の充実(学習プリント、問題集・学習ソフト活用)
- ③ ICT機器を活用した授業改善
 - デジタル教科書を活用した指導
 - iPad、電子黒板の効果的な活用
- ④ 各種検定を活用した学習意欲と学力向上
 - 算数数学思考力検定、実用数学技能検定、漢字検定
- ⑤ 外部講師を招聘しての授業や講演会の実施
 - 大学教授による算数やICTの授業
 - アナウンサーによる話し方教室
 - ライフガードによる命の授業

(2) 中学校

- ① 語彙力や表現力の育成
 - 新聞の活用
- ② 基礎・基本の定着を高める指導の充実
 - 習熟の時間の充実(問題集活用)
 - 週末課題の充実(問題集活用)
 - 長期休業中の学習会の実施(問題集活用)
- ③ ICT機器を活用した授業改善
 - デジタル教科書を活用した指導
 - iPad、電子黒板の効果的な活用
- ④ 各種検定実施による学習意欲と学力向上
 - 漢検、数検、英検の実施
- ⑤ 外部講師を招聘しての授業や講演会の実施
 - キャリア教育ワークショップ
 - 大学教授による心の授業
 - 予備校講師による講演会

【小学校における授業の様子】



子ども新聞の活用

国語辞典の活用



ipad やデジタルビデオカメラの活用



デジタル教科書の活用



ライフガードによる授業

話し方教室

算数の授業

【中学校における授業の様子】



タブレットでの学習



プロジェクターでの説明



電子黒板での授業



新聞での気になる記事の発表



長期休業中の学習会



塾講師による講演



社会人による出前講座

■5 成果と課題

(1) 成果

[児童・生徒]

- ① 国語辞典や漢字辞典を活用することで言葉に関心を持つ児童が増え、調べる習慣が身につく、語彙力の向上につながった。
- ② 子ども新聞の活用により、社会への関心を高め、主体的に情報を得ようとする態度の育成につながった。また、記事へのコメントを記述する学習を継続したことにより、表現力が向上してきた。
- ③ ICT機器の活用により、授業により集中できるようになった。体育での活用は児童の運動技術の向上につながることができた。
- ④ 各種検定や問題集を活用し目標を持たせることで、学習への意欲の向上を図ることができた。家庭での学習時間が増加した。
- ⑤ 予備校講師による講演会後は、自分に適した学習法を自ら考えるなど、家庭学習の取組に工夫が見られるようになった。

[保護者・地域]

- ① 学校便り等で創意工夫支援事業についての取組をお知らせしたことで、学力についての関心が高まった。

[教職員]

- ① 講師から最新の教育情報を得たり、子どものつぶやきや発言の生かし方等を具体的に学んだりして、授業改善に生かすことができた。
- ② 電子黒板やデジタル教科書等の活用で、効率的・効果的な授業を実践することができた。
- ③ 授業改善へ取り組む意識が高まるなど、研修への意欲を高めることができた。

(2) 課題

- ① 児童生徒の基礎・基本の定着を図るだけでなく活用力の育成も図り、学力の向上をめざす。
- ② ICT機器やソフトについては今後も整備を進め、より効果的な活用を図っていく。
- ③ 教職員の研修意欲を高め授業改善に取り組み、児童生徒一人一人の学習課題の解決に取り組む。
- ④ 児童生徒の家庭学習の充実を図るため、保護者の協力を得る。